

ジムご利用時のお願いと注意事項

<共通事項>

1. 身長 100 センチ未満の方はご利用できません。
2. 18 歳未満の利用は、保護者の同意書が必要です。
3. 小学生以下の利用は、保護者同伴となります。(スクールは別)
※親 1 人につき利用できる子供の人数は 2 人までです。
※小学生以下の利用の際は、保護者の方が子供から目を離すことなく安全面のサポートをしてください。
4. 酒気帯びでのご利用、ジム内での飲酒は固くお断りします。
5. 喫煙に関しては、ジム内はご遠慮ください。指定の場所で喫煙ください。
6. ゴミは各自でお持ち帰りください。
7. 健康に不安のある時や、また調子の悪いときは、クライミングをやめてください。
8. 裸で登ったり、裸足で登ったりすることはご遠慮ください。
9. 当ジム内及び駐車場でのごトラブル(事故、盗難を含む)は、一切の責任を負いません。
10. 貴重品は鍵付きロッカーで保管ください。紛失、盗難の責任を負いません。
11. トイレへ行く場合は、外出用のジムのスリッパへ履き替えて行ってください。
12. ジム内での食事はご遠慮お願いいたします。
飲み物に関しては蓋つきのペットボトルや水筒に関しては問題ありません。
13. 粉チョークの使用は可能ですが、必ずチョークボールを使用し、チョークバッグへ入れてご利用ください。
14. レンタルシューズは必ず靴下着用でお願いいたします。

※怪我に対するご確認事項

クライミングは、手足や腕力等を使い体重を支えるスポーツとなりますので、怪我はつきものです。当ジムでは、施設の不備や過失、指導上の怪我が起こらないように、最大限の配慮をしております。

施設内での怪我に関しては、自己責任となりますので、万一の際の備えを検討して頂き、指導内容や、指導員の指示を遵守のうえ、楽しんでいただくよう、ご配慮をお願いします。

また、危険度の高いスポーツとなりますので、ご自身で傷害保険等を備えていただくことをお勧めしております。

<エリアごとのご利用案内・追加注意事項>

《ボルダ一壁について》

1. ボルダリングでマットがあるからと言って 100%安全なものではありません。仮にマットとマットの隙間に落ちると、足を挫いたりします。着地する際には、マットを確かめて、危険が無い高さまで降りてきてから着地してください。一番高いところから毎回着地していたら、踵の骨にひびが入っていたというケースもあります。高いところから飛び降りないように、膝のクッションも使って着地するようにして下さい。
2. 登っているクライマーの落下点には絶対入らないでください。
3. クライミングウォールの性質上、ホールドの回転、ホールドの崩壊、落下等を完全に防ぐことができません。また、ホールドが回転しましたらクライミングを中断し、スタッフまでご報告ください。
4. マット内での休憩は固くお断りいたします。
5. クライミング中の事故及び他の利用者との接触などによるトラブルに関して、当ジムは一切の責任を負いません。

《ルート壁、山岳壁について》

ルート壁・山岳壁はロープを使い 7m 近く登ることができます。

山岳壁のご利用に関しては、団体(10 名以上)のみ予約可能で、予約優先とさせていただきます。混雑の時はご利用できない場合

もあります。ご了承ください。

【ジム備え付けのトップロープによるクライミングについて】

クライマー（登る人）とビレイヤー（確保する人）、2名で行います。

道具の使用法、それに伴うロープ操作、または壁のルールを理解して行わないと重大な事故、および怪我をする恐れがあります。

自信がない場合、確かな技術を身につけたい場合はレッスンの受講をお勧めします。

以下、必ず目を通し、遵守してください。

1. なるべく身体にフィットした服装をお勧めします。頭髪が長い方は縛ってください。確保器等に巻き込まれて危険です。
2. 自分の身体に合ったサイズのハーネスを正しく装着してください。
3. クライマーはロープをエイトノット+ダブルフィッシャーマンズノットで結んでください。
4. ビレイヤーは確保器に正しくロープをセットしてください。この時、ロープが交差していないか、またクライマー、ビレイヤー側のロープが正しいか確認してください。
5. ハーネスの装着やロープの結び方や確保器へのセットの仕方が間違っていないか、お互いに確認しあってください。
6. ビレイヤーは常にクライマーを見ていてください。
7. ハンガーやカラビナを掴まないでください。掴んだまま墜落した場合、指の切断等の怪我をする危険があります。
8. ロープと壁の間に体を入れしないでください。特にロープの中に足を入れた状態で墜落した場合、足がロープに絡んで逆さまになり、頭を壁に打つ危険もあります。また、特に傾斜がある壁ではロープの中に体が入りやすいので注意してください。ロープが首や体に絡まり危険です。その他、ロープにより火傷をする場合もあります。
9. トップロープでは支点から水平方向に離れすぎたホールドを掴まないでください。セットされている支点から離れすぎて墜落した場合、大きく振られて危険です。
10. クライマーを降ろす時は、声を出すか、合図をするなど確認し合ってから降ろしてください。
11. 当ジムで設置しているロープは抜かないでください。
- 12.

【リードクライミングについて】

原則としてトップロープクライミングでのご利用をお願いします。

ただし、施設スタッフから許可を得ている方に関しては、リードクライミングでのご利用が可能です。

ご利用に際しましては、ジムスタッフまで必ずお声かけください。

リービレイドチェックポイント〈基本編〉〈実践編〉の二つを設けています。基本チェックポイントは全てにチェックが入るようにしてください。

自信のない時はトレーニングやレッスンを受けてください。

使用後は元通りに復元してください。

【山岳壁の利用について】

終了点、ビレイポイントは外岩同様二つ以上の支点をとってください。

【ルート壁および山岳壁】

トップロープでの登りは、どなたでも利用可能。

トップロープでの確保は、小学生以下不可。中学生以上可能。

※小学生以下の利用の際は、保護者の方が安全面でサポートしてください。

上記に関して順守できない場合はご退場いただきます。

その場合は利用料などの返金いたしませんので、ご理解のほどお願いいたします。

以上、人の迷惑にならない・自分の身は自分で守るというルールを守って、クライミングを楽しんで下さい。